

信州大学医学部附属病院 整形外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

年 月 日

「思春期特発性側弯症に対する棘突起温存式脊椎後方矯正固定術の手術成績」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
研究課題名	思春期特発性側弯症に対する棘突起温存式脊椎後方矯正固定術の手術成績
所属(診療科等)	小児側弯症研究講座
研究責任者(職名)	大場悠己 (准教授[特定雇用])
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年12月31日
研究の意義、目的	思春期特発性側弯症の手術で、背骨の突起(棘突起)を残す方法と従来の切除法を比較し、見た目の満足度や骨のつき具合、安全性への影響を明らかにすることを目的としています。
対象となる方	2017年1月1日～2024年4月30日までの期間に当院で思春期特発性側弯症に対して手術を受けた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、X線画像、CT画像、手術記録、SRS-22r、術後2年時CTなど
研究方法	当院で手術を受けられた患者さんの診療記録やレントゲン、CT画像、アンケート結果を匿名化して調べ、2年後の経過を両術式で比較します。新たな検査や治療は行いません。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):大場悠己(小児側弯症研究講座・准教授[特定雇用]) 電話:0263-37-2659

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学

術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。